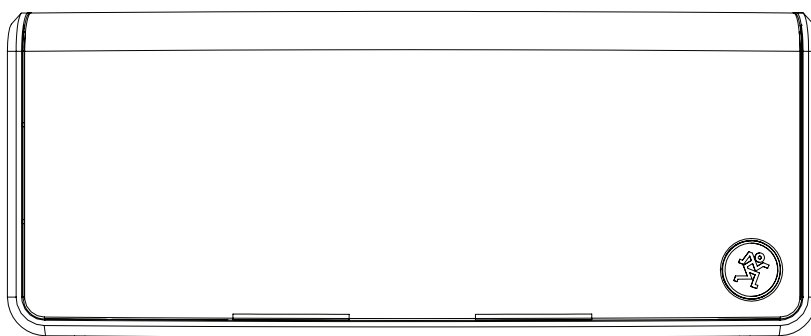




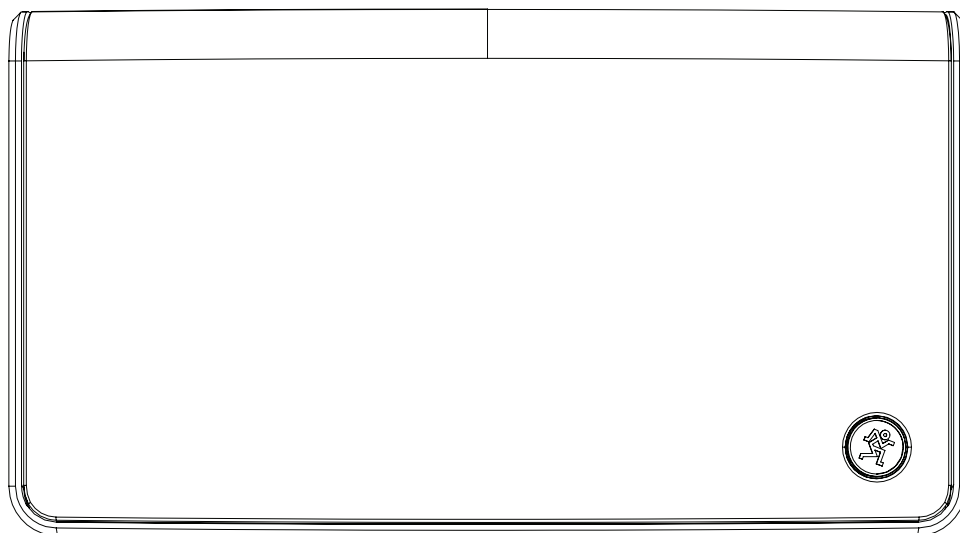
FREEPLAY

日本語オーナーズマニュアル

FREEPLAY GO



FREEPLAY HOME



安全の為に

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。
本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	「必ず守ってください」という強制を表しています。		「絶対にしないでください」という禁止を表しています。
--	--------------------------	--	----------------------------



警告

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本書を全て読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従ってください。



必ず実行

専用電源コードは仕様に適合した電源に接続すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。



必ず実行

電源コードは安全に配置すること

電源コードをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、電源コードが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。



禁止

本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



禁止

電源コードを濡れた手でさわらないこと

感電の原因となる場合があります。



禁止

大音量で使用しないこと

この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



禁止

異臭や異常を感じたら修理を依頼すること

正常に機能しない、電源コードやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。



必ず実行

移動するときはケーブルを全て抜くこと

電源コードや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



必ず実行

電源コードや電源プラグに異常がある場合は使用を中止し、修理を依頼すること

電源コードやプラグの摩耗、接触不良等の場合は本体を使用せず修理をご依頼ください。



必ず実行

長時間使用しない時や落雷の危険があるときは電源プラグを抜くこと

火災や感電、故障の原因になる場合があります。



禁止

本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



禁止

バッテリーを高温下にさらさないこと

極端に高い熱源や直射日光にさらすと、火災や故障の原因になる場合があります。

**警告**

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



禁止

改造を行わないこと

決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。



禁止

本体の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないこと

ガスが滞留して引火による火災などの原因になります。



必ず実行

電源コードは必ずこの製品に付属のものをすること

適合しないものを使用すると通電中に電源コードが加熱し、火災の原因になる場合があります。



禁止

本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。

**注意**

この記号は取扱を誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本体は安定した場所に設置すること

本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。



禁止

ボタンや入出力端子に無理な力を加えないこと

本体の故障やお使いになる方が怪我をする原因になります。



禁止

高温になる場所に設置しないこと

直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上にもろくなど裸火を置かないでください。



必ず実行

スピーカーは定格範囲内で使用すること

定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると、スピーカーが故障する場合があります。特に歪にはご注意ください。

修理

- ・日本仕様の Mackie 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。Mackie 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。
- ・本書でご紹介しているトラブルシューティングの内容を確認してください。
- ・テクニカルサポートに電話、もしくは support_mackie@otk.co.jp にメールをし、「メンテナンス申込書」を請求してください。「メンテナンス申込書」に必要事項をご記入の上、04-2944-3812 へ FAX してください。折り返し RA 番号と送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX で返送致します。RA 番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- ・オーナーズマニュアルと電源コードは同梱しないでください。修理には必要ありません。
- ・本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- ・必ず、RA 番号が記載された修理受付表のコピーを同梱してください。また送り状の通信欄にも、RA 番号と商品名、製造番号を記載してください。RA 番号のない修理品は受付することができません。

保証

- ・本機の保証はご購入後 1 年間となっております。
- ・正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証規定から除外されておりますので、予めご了承ください。
 - ・お客様による輸送、移動中の落下、衝撃など、お客様のお取り扱いが適正ではなかったために故障が生じた場合
 - ・お客様のご使用上の誤り、不適正な改造、弊社の認可のない改造及び修理が行われている場合
 - ・火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因によって故障が生じた場合
 - ・本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障、損傷
 - ・正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- ・日本国外でご使用中の故障、損害

サポートセンター

〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢 2-37-1

塚腰運送敷地内

☎ 04-2944-3811

FAX 04-2944-3812

✉ support_mackie@otk.co.jp

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

営業窓口

東京 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1

☎ 03-3639-7800 (代表)

FAX 03-3639-7801

大阪 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-4

☎ 06-6152-7751

FAX 06-6152-7752

名古屋 名古屋市東区泉 1-23-30

☎ 052-950-3324

FAX 052-950-3325

広島 広島市中区富士見町 16-22-604

☎ 082-258-2916

FAX 082-2582917

福岡 福岡市南区大橋 4-16-18-201

☎ 092-554-6066

FAX 092-554-6064

仙台 宮城県名取市杜せきのした 2-2-16-101

☎ 022-797-5281

FAX 022-797-5282

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

ご質問は電子メールでも承ります。

✉ sales_mackie@otk.co.jp

すべてのサポート・修理に関する情報は下記 Mackie 日本語ホームページをご参照ください。

mackie-jp.com/support

Contents

このマニュアルの使い方	5
特徴	5
はじめに	5
クイックスタート	6
その他の注意	6
接続図 - FreePlay GO	7
接続図 - FreePlay HOME	8
FreePlay GO/FreePlay HOME リアパネルの機能	9
FreePlay Connect アプリ	9
1. 電源コネクタ	9
2. Bluetooth / Aux 入力	9
3. USB-A ポート	9
4. ファクトリーリセットボタン	9
FreePlay GO/FreePlay HOME トップパネルの機能	10
5. パッシブラジエーター	10
6. 電源ボタン	10
7. Bluetooth ボタン	10
8. レベル [+ / -] ボタン	10
9. 再生 / 一時停止 ボタン	10
10. スピーカーリンクボタン	10
付録 A: サービスについて	11
付録 B: 技術情報	12
FreePlay GO/FreePlay HOME 仕様書	12
FreePlay GO 寸法	13
FreePlay HOME 寸法	13

特徴

- Bluetooth 対応ワイヤレスストリーミング
 - FreePlay GO™ と FreePlay HOME™ に Bluetooth デバイスを接続すればすぐ楽しめるパワフルで広がりのあるサウンド
- 充電式リチウムイオン電池
 - 最大 15 時間連続で使用することが可能 *
 - FreePlay GO と FreePlay HOME をモバイルバッテリーとして使用して、スマートフォンやタブレットを充電可能
- 音を引き立たせるデザイン
 - 美しい黒色の艶消し加工が施されたモールドエンクロージャーと金属製グリルはどんな景観にもフィット
- プロフェッショナルサウンドをご家庭でも
 - Mackie のプロオーディオエンジニアによる精巧なチューニングで、パワフルかつクリアなサウンドを実現
- 2 基のパッシブラジエーター
 - 低音とヘッドルームを強化することにより、大音量かつ高音質なサウンドを実現
- 楽しみも 2 倍に
 - もう 1 台の FreePlay シリーズとリンクすることで、より大音量かつ高音質で再生することが可能。また別々で使用することでマルチルームリスニングも可能
- FreePlay Connect™ アプリ
 - 専用のアプリを使用することで、ワイヤレスコントロールが可能
- 1/8 インチステレオミニ AUX 入力端子

* バッテリーの持ち時間は再生する音源やボリュームにより変わります。

はじめに

プロフェッショナルライブサウンドとレコーディングシステムに精通し世界で活躍する Mackie のデザイナーが設計した、FreePlay GO と FreePlay HOME の豊かでパワフルなサウンドを体感してください。

コンパクトで魅力的なデザインが、他のスピーカーにはない優れた明瞭さと歪みのない高いヘッドルームパワーを提供します。デバイスを Bluetooth 経由で FreePlay GO または FreePlay Home に接続し、さらに FreePlay Connect™ アプリを介して 2 台目の FreePlay シリーズと接続することもできます。

自宅でも持ち歩きでも使用でき、大容量の充電電池により最大 15 時間の長時間駆動が可能です。加えて、USB デバイスを充電するためのバッテリーとしても使用することもできます。

FreePlay GO と FreePlay HOME は、他のスピーカーにはない感動的な音楽体験を実現する Bluetooth® スピーカーです。

このマニュアルの使い方

この後に続くクイックスタートガイドでは、本機を設定するための手順が説明されています。接続図ではよくあるセットアップを説明しています。



このアイコンはこの製品で特に重要、あるいは独自の情報を示す際に使われています。よく読み、覚えておくとい良いでしょう。

クイックスタート

以下の手順に従うことで FreePlay GO と FreePlay HOME を素早く設定できます。

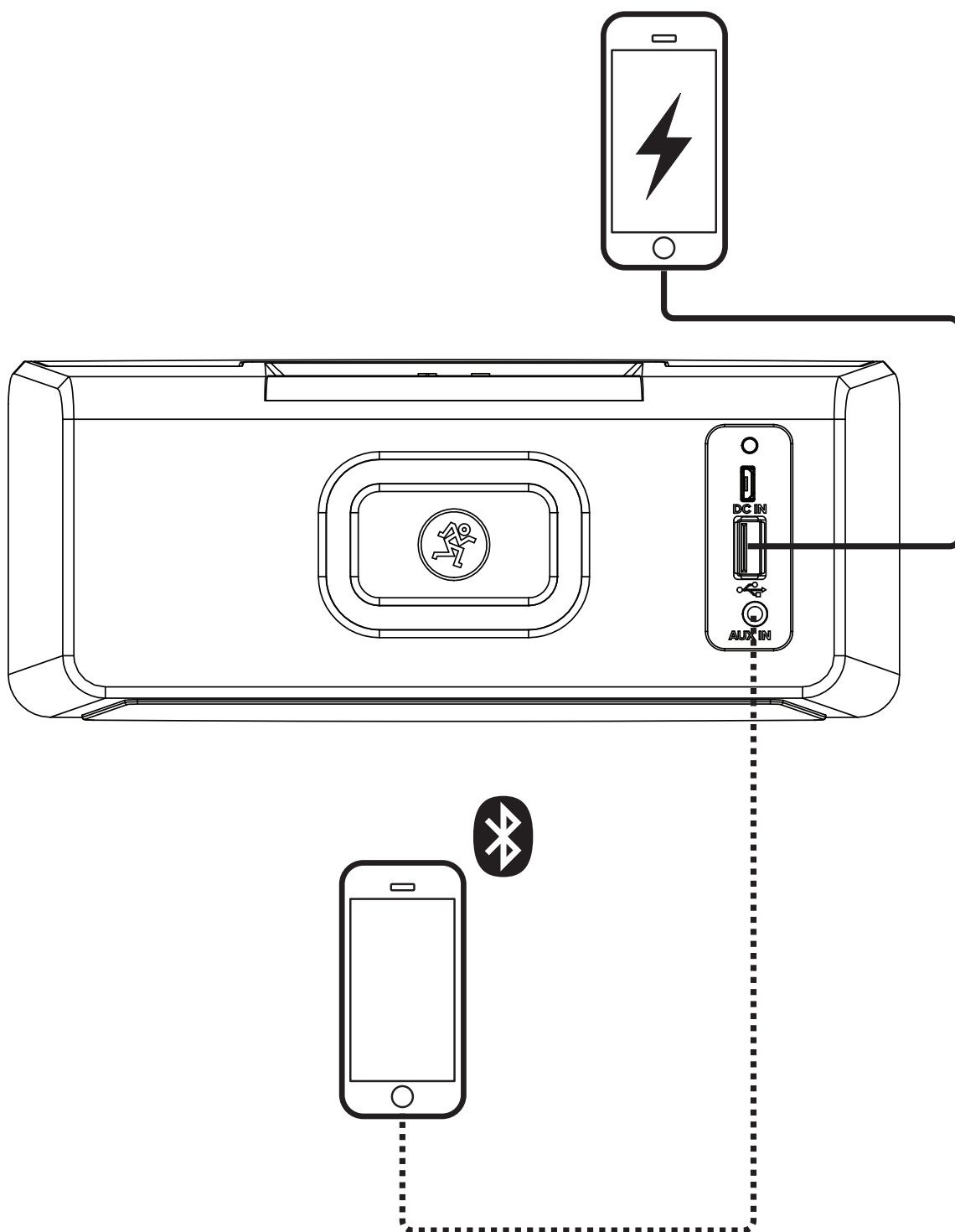
1. ケーブルを接続する際は全ての機器の電源スイッチをオフにしてください。
2. 下記のように機器を接続します。:
MP3 プレーヤーなどのラインレベル音源を AUX 入力に接続してください。
3. FreePlay GO - 付属している USB ケーブルの USB-A 端子を電源アダプターに接続してください。ケーブル反対側の micro-USB 端子を製品本体に差し込み、その後電源アダプターを電源コンセントに接続してください。

FreePlay HOME - 電源アダプターのスイッチを下側へスライドし、付属している AC コネクターを取り付けてください。まず上部を取り付け、その後下部を挿入してください。その後スイッチを離すことで固定されます。一度固定すればはず外れることはありません。電源アダプターを製品本体に差し込み、その後電源アダプターを電源コンセントに接続してください。

4. FreePlay の電源スイッチを押し、電源を入れてください。電源投入時に起動音が鳴り、LED が点灯します。
5. Bluetooth スイッチを長押しし、お持ちのスマートフォンやタブレットをペアリングしてください。
6. 入力のボリュームは、通常使用する際と同じにしてください。
7. 快適なリスニングレベルになるまで、ゆっくりとメイン出力レベルをあげてください。

その他の注意

- 長時間、大音量で音楽を聴くと難聴の原因となる恐れがあります。P.2 の安全条項をよく読んでください。
- 梱包箱と同梱物は大切に保管してください。いつか必要になる時がくるかもしれません。梱包箱の中は、子猫にとっては予想外に快適な遊び場になるかもしれません。その時は怒らないであげてくださいね。
- 保証書は大切に保管してください。



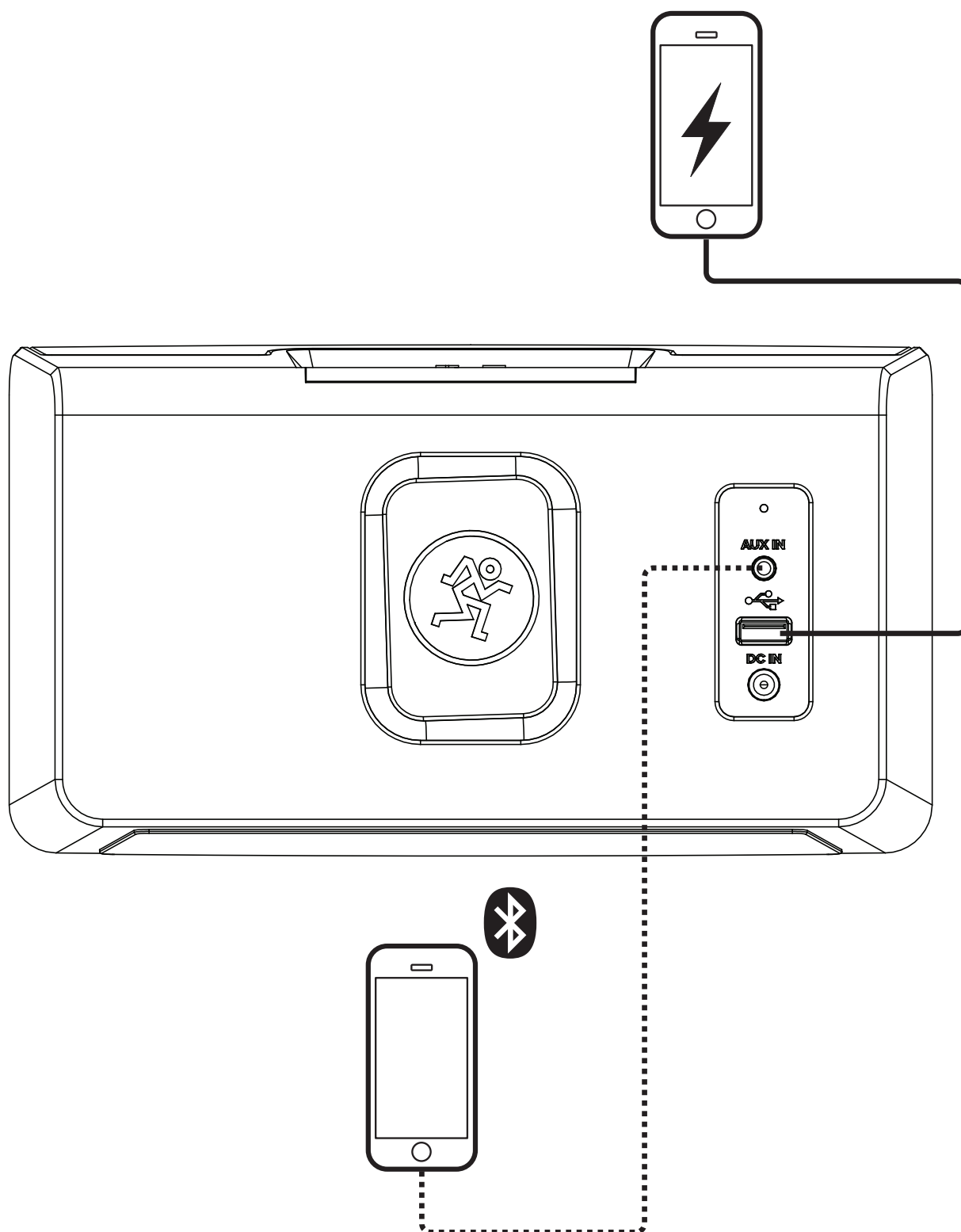
FreePlay GO の設定はこの上なく簡単です！上記の接続図は 1 ページ前の「クイックスタート」に記載されている説明を簡単に図に表したものです。

この図では、上部のデバイスが FreePlay GO の USB-A 端子に接続されています。この端子はデバイスの充電用途のみで 사용할 ことができます。

下部のデバイスは Bluetooth もしくは 1/8 インチステレオミニケーブルを用いて FreePlay GO 本体に接続されています。

これで準備完了です！詳細は次ページ以降を確認してください。

接続図 - FreePlay HOME



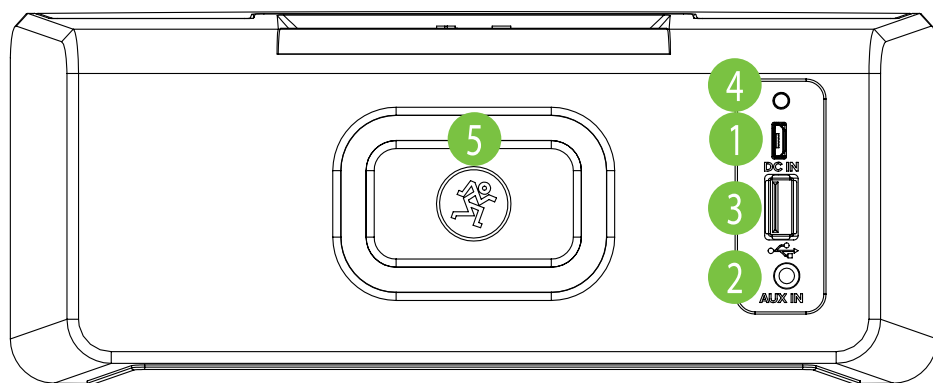
FreePlay GO と同様に、FreePlay HOME の設定もこの上なく簡単です！これら 2 機種の機能はほぼ同等です。上記の接続図は 2 ページ前の「クイックスタート」に記載されている説明を簡単に図に表したものです。

この図では、上部のデバイスが FreePlay HOME の USB-A 端子に接続されています。この端子はデバイスの充電用途のみで使用することができます。

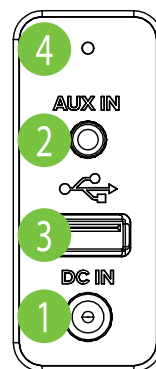
下部のデバイスは Bluetooth もしくは 1/8 インチステレオミニケーブルを用いて FreePlay HOME 本体に接続されています。

ほら、全く同じですね。これで準備完了です！詳細は次ページ以降を確認してください。

FreePlay GO/FreePlay HOME リアパネルの機能



FreePlay GO Rear Panel



FreePlay HOME Rear Panel

FreePlay Connect アプリ

FreePlay GO と FreePlay HOME は、専用アプリ「FreePlay Connect」と連携して使用することができます。アプリを連携することで、ステレオモードとゾーンモードの選択、ステレオリンクされている FreePlay の L/R 切り替えや、バッテリーの残量を確認することができます。

FreePlay Connect は誰でも簡単かつ直感的に操作できるアプリです。ご不明な点がございましたら下記よりお問い合わせください。
mackie-jp.com/contact

1. 電源コネクター

FreePlay は 100 VAC - 240 VAC まで対応できるユニバーサル AC 電源により駆動します。そのため変電スイッチなどはありません。理論的には世界中どこでも使用することができるこの電源アダプターを、私たちは「プラネットアース」と呼んでいます。これは従来の電源よりも電圧サグやスパイクの影響を受けにくく、加えて電磁気のアイソレーションも向上しているため、ノイズの影響も受けにくい仕様となっています。

FreePlay GO と FreePlay HOME の電源コネクターは僅かに異なります。ご使用のモデルをご確認頂き、下記の手順に従ってください。

FreePlay GO - 付属している USB ケーブルの USB-A 端子を電源アダプターに接続してください。ケーブル反対側の micro-USB 端子を製品本体に差し込み、その後電源アダプターを電源コンセントに接続してください。

FreePlay HOME - 電源アダプターのスイッチを下側へスライドし、付属している AC コネクターを取り付けてください。まず上部を取り付け、その後下部を挿入してください。その後スイッチを離すことで固定されます。電源アダプターを製品本体に差し込み、その後電源アダプターを電源コンセントに接続してください。

VERY IMPORTANT 本機に同梱している電源アダプターは 100V 専用モデルです。日本国外での使用はできません。

2. Bluetooth / AUX 入力

FreePlay は 1/8 インチステレオミニプラグ型の外部入力端子 (Bluetooth / AUX) を装備しています。スマートフォンや MP3 プレイヤーなどを接続して音楽をストリーミング再生できます。FreePlay トップパネル上の + および - ボタンを使用してレベルを調整することができます。または FreePlay Connect から調整することもできます。

VERY IMPORTANT 静電気放電 (ESD) が発生すると、機器の誤動作の引き金となり Bluetooth 接続が解除される場合があります。その場合は手動で再接続してください。

VERY IMPORTANT 決してアンプからの出力を FreePlay の入力端子に接続しないでください。入力回路の破損の原因となる場合があります。

VERY IMPORTANT 1/8 インチステレオミニプラグと Bluetooth を同時に接続して使用することはできません。AUX 端子に物理的にケーブルを差し込むと、Bluetooth 接続に対して有線接続が優先されます。例えばスマートフォンを Bluetooth で接続し音楽を再生している際に、MP3 プレイヤーを AUX 端子に有線で接続すると、MP3 プレイヤーからの音源が優先されます。AUX 入力は回路上若干のディレイが発生します。マイク、楽器、ミキサー等を接続したい場合は FreePlay LIVE をお使いください。

3. USB-A ポート

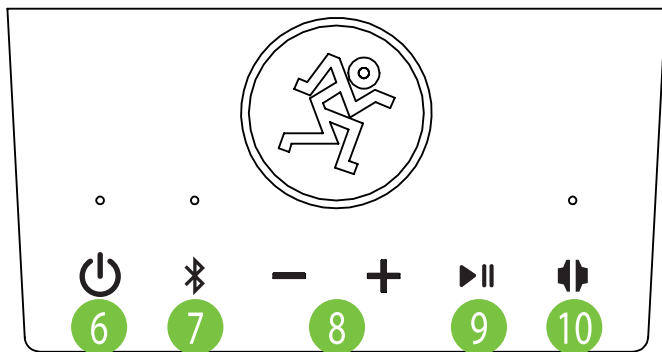
スマートフォンまたはタブレットをこのポートに接続して充電することができます。

4. ファクトリーリセットボタン

クリップなどの先端でこのボタンを押すと、FreePlay を工場出荷状態に戻すことができます。この機能は全ての設定を削除しますのでご注意ください。

VERY IMPORTANT また、このボタンを押すことで過去にペアリングされたデバイスの情報が FreePlay から削除されます。この状態から回復するには、お使いのデバイスの Bluetooth 設定画面で「デバイスの登録を解除」して、再度ペアリングを行ってください。

FreePlay GO/FreePlay HOME トップパネルの機能



5. パッシブラジエーター

FreePlay に搭載されているパッシブラジエーターにより、低域の再生能力を高めることができます。音楽に合わせて振動するさまは、まるでダンサーのようです。グリルの開けるともう一つのパッシブラジエーターがあるため、正確に言うとダンサーはデュオになりますね。

6. 電源ボタン

電源ボタンを押すことで、FreePlay 本体の電源を入れることができます。電源投入時には起動音が再生されます。起動すると、電源ボタン上部の LED が白色に点灯します。起動は数秒で完了します。

電源ボタンを押し続けることで、FreePlay 本体の電源を切ることができます。電源を切るためにはボタンを長押しする必要があるため、予期せぬシャットダウンを防止することができます。意図的に電源を切りたがらないで好きな子供たちにも、これで安心です。電源が切れると、終了音が再生されます。また予想通り、電源ボタン上部の LED が消灯します。



バッテリーが 3% まで低下すると、FreePlay がコンセントに接続されるか、バッテリーがなくなるまで、すべての LED がゆっくり点滅します。バッテリーが切れると終了音が再生されます。もう一度 FreePlay をコンセントにつなぎ、バッテリーを充電して引き続きお楽しみください！



FreePlay Connect を使用することで、バッテリーの残量を確認することができます。アプリ画面にバッテリー残量がリアルタイムに表示されます。

7. Bluetooth ボタン

初回の起動時には、Bluetooth ボタン上部にある LED がゆっくりと白色に点滅します。

Bluetooth ボタンを長押しして選択します。選択されると、LED が高速で白色に点滅します。これは FreePlay がペアリングモードになっていることを示しています。

FreePlay がペアリングモードに入ると、LED の点滅と同時に Bluetooth デバイスのスキャンを開始します。お持ちのデバイスの「使用可能なデバイス」リスト上に、FreePlay が表示されます。FreePlay を選択後、お持ちのデバイス上で、問題なくペアリングができたかどうか確認してください。ペアリングに成功すると、ボタン上部の LED が白色に点灯します。ペアリングが成功しない場合、上記手順をもう一度行ってください。この時、FreePlay とお持ちの

デバイスが同時にペアリングモードに入っているかどうかを改めて確認した上で行ってください。

静電気放電 (ESD) が発生すると、機器の誤動作の引き金となり Bluetooth 接続が解除される場合があります。その場合は手で再接続してください。

8. レベル [+/-] ボタン

+ ボタンを押すことで通常攻撃、連続攻撃を繰り返します。また敵からダメージを受ける毎に技ゲージが上昇し、ゲージが MAX になった時、- ボタンを押すことで必殺技が発動します。技ゲージはライフが少ないほど上昇率が上がります。

さあいつもの冗談はさておき、本当のことをお教えします。+/- ボタンは FreePlay の出力レベルを調節することができます。+ を押すと音量が上がり、- を押すと音量が下がります。

9. 再生 / 一時停止 ボタン

このボタンを押すことで、Bluetooth ストリーミングの再生 / 一時停止を行うことができます。



このボタンは Bluetooth ストリーミング時のみ使用できます。Aux 端子を使用した有線接続による音源再生時は、このボタンを使用して再生 / 一時停止を行うことはできません。

10. スピーカーリンクボタン

FreePlay には、2 台目の FreePlay とリンクできる素晴らしい機能が搭載されています。これにより、同じ場所に「ステレオペア」として置くことも、来客用に屋外や別の部屋に設置することもできます (別名「ゾーンモード」)。この機能を使うと Mackie FreePlay シリーズのどのモデルともリンクさせることができます。ではリンクする方法をみてみましょう。

まず、Bluetooth デバイスが 1 台目の FreePlay に Bluetooth 接続されていることを確認してください。

次に、1 台目の FreePlay のスピーカーリンクボタンの上の LED が点滅するまでこのボタンを長押ししてください。これにより、他の FreePlay とリンクする準備が整いました。リンクが開始される際に、効果音が再生されます。

次に、2 台目の FreePlay のスピーカーリンクボタン上部 LED が点灯するまで、リンクボタンを長押ししてください。リンク開始の効果音が再生された後、もう一度効果音が再生されたらリンク完了です。

リンクを解除する際は、どちらかの FreePlay のリンクボタンを長押ししてください。



リンクを行っている際に信号が途切れることがあります。これは、ハードウェアがリンク処理を完了する際の正常な動作です。

付録 A: サービスについて

FreePlay GO または FreePlay HOME に問題が発生した場合は、下記の「トラブルシューティング」を参照して問題点を確認してください。弊社のウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。下記の内容に沿って状況を確認しても問題が解決しない場合、または明らかに製品が故障している場合は、ただちに使用を中止してこの製品をお求めの販売代理店まで修理をご依頼ください。

トラブルシューティング

電源が入らない

- 私たちの大好きな質問です。電源アダプターは接続されていますか？同梱されている電源アダプターが FreePlay の電源ソケットに正しく接続されていることを確認してください。
- 電源ボタン上部の LED は点灯していますか？
- バッテリーは充電されていますか？

音が出ない

- 入力レベルを絞っていませんか？システム内の全てのボリュームコントロールが適切に調整されているか確認してください。
- シグナルソースは機能していますか？ケーブルに問題がないこと、両端でしっかり接続されていることを確認してください。接続している機器のボリュームコントロールが、このスピーカーの入力をドライブするのに十分な程度上がっていることを確認してください。

音が良くない

- 音量が大きくて歪んでいますか？信号経路で過大入力となっている原因がないかを確認してください。システム内の全てのボリュームコントロールが適切に調整されているか確認してください。
- 入力コネクタが端子に最後までしっかり挿し込まれていますか？全ての接続に問題がないことを確認してください。

ノイズが出る

- スピーカーに接続している全ての機器の出音に問題がないことを確認してください。
- 信号ケーブルを電源コードや電源トランスなど電磁干渉を発生するものの近くに設置しないでください。
- スピーカーと同じ電源回路に、照明用のディマーや SCR ベースの機器を接続していませんか？ AC 電源フィルターを使うか、スピーカーを別の AC 電源回路に接続してください。

Bluetooth について

- 下記よりお問い合わせください。

mackie-jp.com/contact

ご不明な点は…

- mackie-jp.com にアクセスしてサポートの項目をご覧ください。
- support_mackie@otk.co.jp までメールをお寄せください。
- テクニカルサポートセンターにお電話ください。
 - 日本語：04-2944-3811（月～金曜、9am～6pm）
 - 英語：1-800-898-3211（月～金曜、営業時間 PST）

付録 B: 技術情報

FreePlay GO/FreePlay HOME 仕様書

音響特性

周波数特性（-10 dB）	87 Hz - 20 kHz [FreePlay GO] 70 Hz - 20 kHz [FreePlay HOME]
周波数特性（-3 dB）	120 Hz - 20 kHz [FreePlay GO] 75 Hz - 20 kHz [FreePlay HOME]

搭載ユニット

ドライバー直径	51 mm [FreePlay GO] 64 mm [FreePlay HOME]
ボイスコイル直径	19 mm [FreePlay GO] 25 mm [FreePlay HOME]
ダイヤフラム材質	特殊加工紙
マグネット材質	セラミック

パワーアンプ

システムパワーアンプ	
FreePlay GO 定格出力	20W RMS / 40W PEAK
FreePlay HOME 定格出力	30W RMS / 60W PEAK
THD	<1%
冷却	対流式
動作方式	クラス D

入力

入力タイプ	1/8 インチステレオフォン
インピーダンス	10 k Ω

電源

電源要求	100-240VAC, 50-60 Hz, 0.45 Amps, 5 VDC, 2.1 Amps [FreePlay GO] 100–240 VAC, 50/60 Hz, 1.3 Amps, 15 VDC, 2.8 Amps [FreePlay HOME]
動作温度（許容室内温度範囲）	0 ～ 40℃

保護機能

リミッター / 保護	入力 / システムリミッター アンプ保護
------------	-------------------------

バッテリー

バッテリータイプ	リチウムイオン
容量	2600 mAh / 18.72 Wh [FreePlay GO] 2600 mAh / 28.08 Wh [FreePlay HOME]
公称電圧	7.2 V DC [FreePlay GO] 10.8 V DC [FreePlay HOME]
動作温度範囲	-20~60℃
充電時温度範囲	0~40℃

Bluetooth

Bluetooth プロトコル	4.2
Bluetooth 機能	オーディオストリーミング UI コントロール

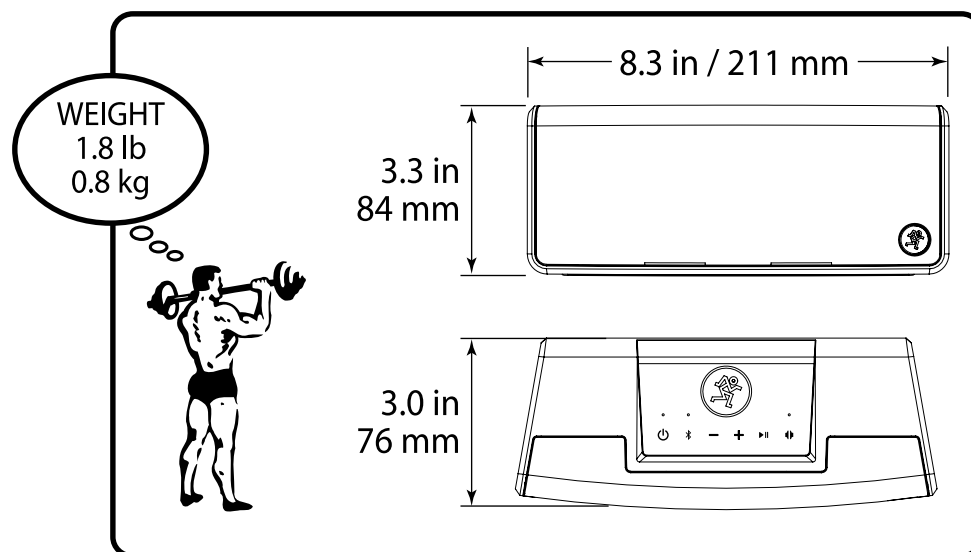
寸法 / 重量

FreePlay GO	高さ	84 mm
	幅	211 mm
	奥行き	76 mm
	重量	0.8 kg
FreePlay HOME	高さ	135mm
	幅	241mm
	奥行き	102 mm
	重量	1.8 kg

LOUD Audio 社は、常に新しい素材、部品、製造方法を取り入れて製品を改善するよう努めているため、製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。

「ランニングマン」、「Running Man」は LOUD Audio 社の登録商標です。他の商品名または会社名は各社の商標または登録商標です。

FreePlay GO 寸法



FreePlay HOME 寸法

